

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 2月

平成29年2月1日の推計人口 1,364,450人  
世帯数 562,685世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

#### 1 推計人口

平成29年2月1日現在の推計人口は、1,364,450人で、前月(1,365,257)に比べ807人の減少となった。

市部では大村市(66)、島原市(4)の2市で増加し、佐世保市(269)、諫早市(83)、南島原市(78)、対馬市(55)、五島市(44)、長崎市(41)、雲仙市(37)、西海市(35)、松浦市(33)、壱岐市(31)、平戸市(20)の11市で減少した。

郡部において増加はなく、長与町(58)、新上五島町(22)、時津町(16)、波佐見町(16)、小値賀町(14)、東彼杵町(13)、佐々町(12)の7町で減少した。(川棚町は、増減なし。)

自然動態は、出生数918人、死亡数1,758人で840人の減少、社会動態は、転入者数2,885人(県内転入を含む)、転出者数2,852人(県内転出を含む)で、33人の増加となった。

#### 2 世帯数

平成29年2月1日現在の世帯数は、562,685世帯で前月(562,802)に比べ117世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

### 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…12月

1人あたり現金給与総額 567,020円  
対前月比 111.6%増加  
対前年同月比 3.8%増加

#### 1 賃金

12月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額567,020円で、前月に比べ111.6%増加し、前年同月に比べ3.8%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は249,853円で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ0.3%増加した。

特別給与額は317,167円で、前年同月に比べ、20,208円増加した。

#### 2 労働時間

12月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は158.6時間で、前月と同水準、前年同月に比べ0.6%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は145.8時間で前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ0.3%増加した。

所定外労働時間数は12.8時間で、前月に比べ0.8%減少し、前年同月に比べ9.2%減少した。

#### 3 雇用

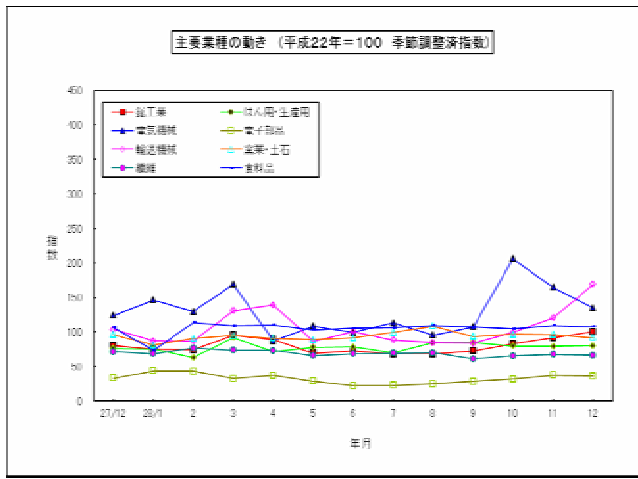
12月の常用労働者数は214,365人で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ0.6%増加した。

### 【鉱工業生産指数】……………12月

平成28年12月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	100.0	9.2	98.5	26.0
九州	112.8	1.3	115.1	11.7
全国	100.6	0.7	100.9	3.2



平成28年12月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が100.0で前月比は9.2%の増、原指数は98.5で、対前年同月比は26.0%の増となった。

業種別にみると、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業など5業種が上昇し、電気機械工業、窯業・土石製品工業、電子部品・デバイス工業、繊維工業、食料品工業など8業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
輸送機械工業	40.0	63.4	修繕船
はん用・生産用機械工業	0.9	3.3	ボイラ

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	18.0	15.4	交流発電機
窯業・土石製品工業	4.5	4.3	生コンクリート
電子部品・デバイス工業	3.2	8.9	半導体集積回路
繊維工業	1.9	8.7	織物製外衣
食料品工業	1.3	0.0	生菓子(洋生菓子)

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 1月

総合指数(H27=100)	100.2
対前月比 (%)	0.1
対前年同月比 (%)	0.4

平成29年1月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、100.2である。

前月比は、0.1%の上昇で、上昇要因は「食料」の+0.6%、「家具・家事用品」の+2.4%であり、下落要因は、「被服及び履物」の3.6%、「教養娯楽」の0.7%である。

前年同月比は、平成28年10月は0.1%、11月は+0.7%、12月は+0.3%と推移した後、平成29年1月は+0.4%であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は99.9であり、前月比は+0.1%、前年同月比は+0.1%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	0.6%
光熱・水道	0.4%
家具・家事用品	2.4%
保健医療	0.3%

下落した費目

被服及び履物	3.6%
交通・通信	0.3%
教養娯楽	0.7%
諸雑費	0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 1月

消費支出(一世帯当たり)	257,378円
前月比	48,694円減(15.9%減)

平成29年1月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は257,378円で、前月比15.9%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は88.2%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比(%)
食料	65,050	22.3
住居	13,819	23.4
光熱・水道	26,392	27.0
交通・通信	39,849	9.7
教養娯楽	14,328	46.2

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。